

(お知らせ)

22.8.5
統合幕僚監部

平成22年度自衛隊統合防災演習(実動演習)について

自衛隊は、下記のとおり平成22年度自衛隊統合防災演習(実動演習)を実施いたします。

記

1 目的

東海地震発生時等における自衛隊の統合運用による対処要領を関係機関等と共同して実践的に演練し、自衛隊の災害対処能力の維持・向上を図るとともに、自衛隊東海地震対処計画の検証に資する。

2 主要演練事項

- (1) 関係機関との連携要領
- (2) 後方補給に係る各部隊間の連携要領

3 演習概要

- (1) 機能別訓練と総合訓練に区分して実施する。
- (2) 訓練内容は、次のとおり。

ア 機能別訓練

自衛隊独自の訓練として、自衛隊東海地震対処計画における各種機能の検証及び自衛隊の災害対処能力の維持・向上を図る。主な訓練項目は次のとおり。

- (ア) 統合通信訓練
- (イ) 統合後方補給訓練

イ 総合訓練

政府及び静岡県の防災訓練と接続し、関係機関等との連携要領を演練する。主な訓練項目は次のとおり。

- (ア) 政府調査団派遣訓練
- (イ) 政府現地本部訓練
- (ウ) 広域医療搬送訓練
- (エ) 防衛省災害対策本部運営訓練
- (オ) 静岡県総合防災訓練と連携した訓練

4 時期

- (1) 機能別訓練：平成21年8月29日(日)～8月31日(火)
- (2) 総合訓練：平成22年8月31日(火)～9月1日(水)

5 実施場所

市ヶ谷駐屯地及び参加部隊等の所在地、静岡県総合防災訓練各現地会場及び同周辺海・空域等

6 統裁官

統合幕僚長

7 参加部隊等

- (1) 幕僚監部等 : 統合幕僚監部、自衛隊指揮通信システム隊
人員約 100 名
- (2) 陸上自衛隊 : 各方面隊、中央即応集団、通信団、警務隊、陸上自衛隊中央輸送業務隊、中央管制気象隊、陸上自衛隊富士学校、陸上自衛隊航空学校、陸上自衛隊通信学校及び陸上自衛補給統制本部
人員約 1,250 名、車両約 370 両、航空機 9 機
- (3) 海上自衛隊 : 自衛艦隊、横須賀地方隊、教育航空集団、システム通信隊群及び海上自衛隊補給本部
人員約 100 名、車両約 10 両、艦船 4 隻、航空機 2 機(回転翼)
- (4) 航空自衛隊 : 航空総隊、航空支援集団、航空教育集団、航空システム通信隊、航空自衛隊補給本部及び航空自衛隊岐阜病院
人員約 150 名、車両約 20 両、航空機 6 機
- (5) 合 計 : 人員約 1,600 名、車両約 400 両、艦船 4 隻、航空機 17 機

8 関係機関等

内閣府、消防庁、警察庁、海上保安庁、静岡県庁等